

# レパーサ<sup>®</sup> 皮下注420mgオートミニドージャー 自己注射チェックシート

**医療関係者用**

このチェックシートを使用し、自己注射の指導を行う場合は、必ず「レパーサ皮下注420mgオートミニドージャー自己投与のための使い方ハンドブック」を参照しながら使用してください。

# レパーサ皮下注420mgオートミニドージャー 自己注射チェックシート

医療関係者用

カルテID

患者様氏名

様

日付

/	/	/
---	---	---

サイン

--	--	--

## ステップ1:注射の前に

P.4 P.7	保管方法や使用時の注意点を理解している。 ※持ち運ぶ場合は保冷剤を入れた保冷バッグを使う。
P.8	箱のまま45分以上かけて室温に戻すことを理解している。
P.10	注射する前の準備ができる。(物品の用意や手洗い)
P.11	注射する部位を選択できる。(腹部または大腿部)

凍結させない



高温になる場所で保管しない



激しく振らない



落とさない



濡らさない



45

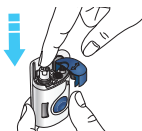
45分以上かける

## ステップ2:準備をする

P.12 -14	オートミニドージャーとカートリッジを正しく取り扱える。 ※オートミニドージャー:注射開始まで、スタートボタンに触れない。 ※カートリッジ:上部や底部を外したり回したりしない。
P.15 -17	消毒したカートリッジをオートミニドージャーの奥まで しっかりと押し込んだ後、ふたをしっかりと閉め、 5分以内に注射できる。



針が露出



パチン



## ステップ3:注射する

P.18 -19	緑のプルタブを左右ともはがし、表示ランプの確認ができる。 (表示ランプ:青の点滅)
P.20 -23	姿勢を整え、注射する部位に貼り付けることができる。 ※一度皮膚に貼った後に位置を変えない。
P.24	スタートボタンをしっかりと押し込み、 表示ランプの確認ができる。(表示ランプ:緑の点滅)
P.24 -25	注射中は可能な限り安静にし、約5分*待機できる。 ※注射中は投与部位に負荷がかかるような動作を避ける。
P.25	注射が終了したことを確認できる。 ※表示ランプ:緑の点滅→緑の点灯に変化。 ※薬液確認窓:白いプランジャーのみが見える。



皮膚粘着剤

青点滅



緑点滅

5

約5分\*

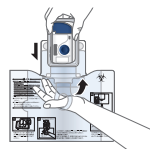
緑点灯



薬液確認窓

## ステップ4:終了(取りはずし・片付け)

P.26 -27	注射が終わったらオートミニドージャーを皮膚からはがし、 専用廃棄袋に捨てることができる。(表示ランプ:消灯) ※使用後は分解しない。 ※専用廃棄プレートに貼り付け、専用廃棄袋に捨てる。
-------------	---



消灯

## トラブルの対処法

P.28, 32-35	表示ランプの赤い点滅が、エラーを示すことを理解している。 エラー発生時や、注射後に気になる症状がある場合は、 担当医師に相談ができる。担当医師:
裏表紙	「アムジェン メディカルインフォメーションセンター」 の連絡先を知っている。



赤点滅

\* 変更前品である自動注入時間約9分のオートミニドージャーもまだ流通している可能性があります。  
自動注入時間約5分の場合は箱の上面に「オートミニドージャー-変更品」の記載がございますので、ご確認の上ご使用ください。

(2022年3月印刷) MH-Σ

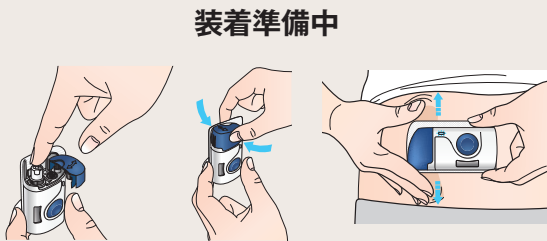
# レパーサ皮下注420mgオートミニドージャー 使用時のポイント

レパーサ皮下注420mgオートミニドージャー使用時の4つのポイントです。  
「レパーサ皮下注420mgオートミニドージャー 自己投与のための使い方ハンドブック」  
を用いて、患者さんに使用時のポイントをご案内ください。

## 1 装着準備中に、誤ってスタートボタンに触れないようにする。

⚠ スタートボタンを押すと針が露出してしまうため、スタートボタンは1回しか押せません。

P.9以降

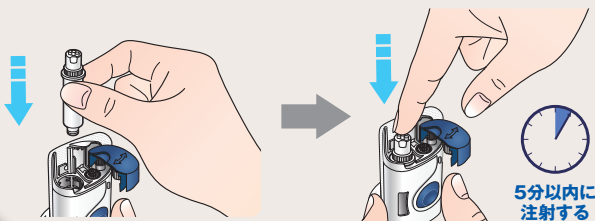


針が露出

## 2 カートリッジを底部から真っ直ぐに取り付け、奥までしっかりと押す。

⚠ しっかりと押し込むことで、カートリッジの底部のゴム栓に内部の針が穿刺されます。

P.15-17



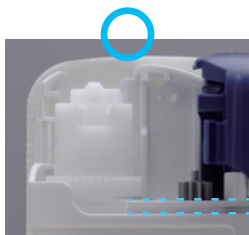
### カートリッジ装着後



機器内部で薬液が流路に流れはじめるため、針先から数滴の液漏れがみられることがありますが、使用に問題はありません。

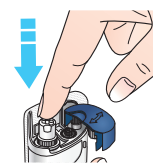


### カートリッジ装着例



カートリッジが少し浮いている

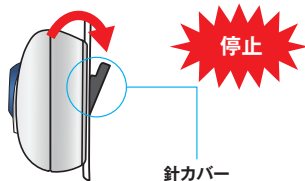
### ふたを閉める前に



カートリッジが浮いている場合は、奥までしっかりと押し込んでください。

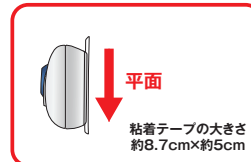
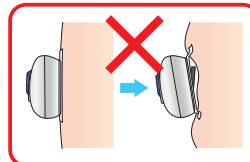
### 3 注射中に、針カバーが開かないようにする。

注射中に針カバーが開かないよう注意してください。



#### 貼り付ける前の注意点

P.21



皮膚のしわやくぼみ避ける 硬く平らな皮膚面を選ぶ



#### 貼り付けた後の注意点

P.21  
P.23

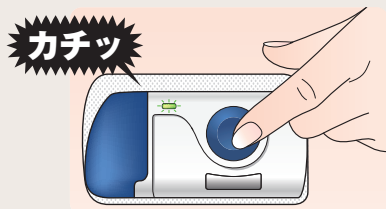


注射中はオートミドラーを動かさない 注射中は可能な限り安静にする

\* 変更前品である自動注入時間約9分のオートミドラーもまだ流通している可能性があります。自動注入時間約5分の場合は箱の上面に「オートミドラー-変更品」の記載がございますので、ご確認の上ご使用ください。

### 4 スタートボタンをカチッと音がするまでしっかりと押す。

P.24

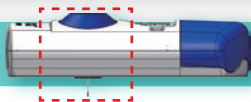


投与針は、スタートボタンを最後まで押し切ることで適切な位置に固定されます。



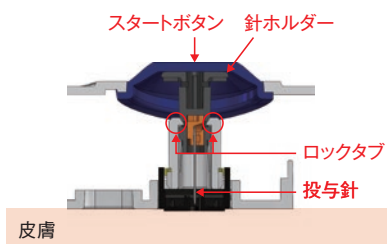
スタートボタンを押し切るより先に、内部の光学センサーが針ホルダーの位置を感知し、機械の駆動が始まります。

#### 断面図(横)



#### 皮膚に取り付けた時

・スタートボタンは針(ホルダー)の真上に取り付けられています。



#### スタートボタンを押した時

・スタートボタンを押すと、スタートボタンに押されて針ホルダーが下がり、投与針が針カバーの穴から皮膚へ穿刺されます。  
・機器内部で針ホルダーがロックタブに固定されるまで、スタートボタンを完全に押ししてください。

